

令和4年度 なんと未来ミーティング<高校生コース>
-「南砺の未来をつくる ビジョンワーク」-

■目的	
まちづくり基本条例に基づき、情報の共有や市民参画を積極的に進め、市民から直接市政に対する前向きな意見や提言を聴き、対話による協働のまちづくりを進めるために開設する。 特に、人口減少を背景として、若者の転出超過や選挙権年齢引き下げなど、今後の若い世代が主体的に社会や地域に関わる事が求められていることから、自身の人生と生活拠点を結びつけてもらい、グループワークをとおして個々の意見を今後のまちづくりの施策につなげることを目的とします。 今回、春には自分が決断した大きな夢に向かって歩みはじめる福祉科3年生がワークをとおして『どんな場所に暮したいのか』『住む場所を選ぶポイント』等、ターニングポイントでの考えや意見を直接市長に伝える機会を設けます。	
■期日	令和5年2月8日(水)
■時間	午前9時00分～11時00分
■会場	南砺福野高等学校 2階 総合福祉実習室
■参加者	福祉科 3年生 27人
■ファシリテーター	人づくり・学び舎 代表取締役 浦井啓子氏
■出席者	田中市長、堀情報政策課長、広報係2人(5人)
■報道関係者	となみ衛星通信テレビ(株)、NHK富山、中日新聞、富山新聞、北日本新聞、読売新聞(6社)

■テーマ	
南砺の未来をつくるビジョンワーク	
■タイムテーブル	
9:00	開会・オリエンテーション
9:20	個人ワーク : 「住む」「働く」「活動」項目で将来における自身の重要ポイントを考える
9:30	グループワーク : 「進学」「就職」「結婚」「子育て」「介護」について、重要ポイントを各グループで意見交換
9:50	休憩
10:00	◆各グループ発表
10:20	個人ワーク : ワークを通じて南砺の未来を考える(アンケート)
10:35	◆まとめ
10:40	◆市長総評
10:55	閉会・解散
◆まとめ(浦井氏)	
<p>今日、テーマにしたような1つ1つの分岐点がある時に、どういった選択をしていくかを自分で考えていく事がすごく大事になります。また、今まで自分の住む地域について考えることがなかったと思います。</p> <p>今は、本当にいい時代で、欲しいものもここにいながらにして、手に入れることができますが、昔だったら、仕事のために住む場所を諦めるとか、住むところのために仕事諦めるという時代であったが、今はどこにいても自分はやりたいこと、挑戦したいことが出来るようになってきました。だからこそ、自分が大切にしようとするその意思さえ持てれば、何度でもやり直せます。そんな時代に成人となった18歳の皆さんに、この言葉を贈ります。"YOU'RE THE CEO OF YOUR LIFE"(あなたはあなたの人生の最高責任者です) 誰のためのものでもない、自分の人生です。自分がまず幸せになっていくことで、周囲の人たちを幸せにすることができます。</p> <p>皆さんが見つつけてくれた自分の大事にしたいこと、重要だと思ったことを、まずは選択してみてください。年齢経過やライフステージの変化、進学・就職において常に見え方が変わります。その時も自分が大事にしていることを考えて選択してほしいと思います。</p> <p>自分で決めたことだから、辛くても簡単に音を上げられないし、途中で投げ出す事も厳しいですけど、やっぱり自分で選んだことであれば満足度とか充実度は全然違うため、皆さんにはそれを大事にして生きてほしいと思います。</p>	
◆田中市長総評	
<p>自分たちの人生を送っていく上で最高責任者なんだということで、その日その日の人生を、責任を持って送っていただきたいです。</p> <p>最近、地方創生という言葉が耳にしませか? 今、地方の人口が減り、いろんな仕組みがおかしくなったり、そこで住んでいる方や若い人達が住みにくい社会になりつつあります。そこをどうやって、しなやかに時代を変えていか、新しく作っていくのが今1番大事な時期だと思っています。</p> <p>少子高齢化による学校編成や部活動のあり方などを議論しておりますが、やはり1番大事な事は、地域に暮らす私たちがいかに幸福感を感じるかということだと思います。</p> <p>また、今日みたいに、ワークの中で話していると、相手の考えが私とはちょっと違ってるって事も気づくと思いますが、それは多様性があります。ただ、多様性を突き詰めていくと、亀裂や衝突が起きそうになることも、これからの人生の中にあると思いますが、そこで頭の中に置いてもらいたいのは、寛容性という言葉です。</p> <p>私たちは、今からこんな街を作りたいなっていう時に"寛容度の高い町を作りたい"っていう風に、目標を決めたいと思っています。皆さんがどこに住んでもいい権利があるけれども、ちゃんとふるさとを将来的に住む選択肢に入りたいとか、どこに住んでもふるさとの為に、何かやりたいと思うような気持ちになってもらうことが大事だと思っています。そのためには、私たちがもっとも寛容度を高めていかなければなりません。</p>	

NO. 1



オリエンテーション

No. 2



個人ワーク

No. 3



個人ワーク

NO. 4

グループワーク



No. 5

グループワーク



No. 6

グループワーク



NO. 10

グループ発表



No. 11

グループ発表



No. 12

市長総評

